

九品仏地区 社協だより No.178



発行者：九品仏地区社会福祉協議会
事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局
世田谷区奥沢 7-35-4
九品仏まちづくりセンター内
☎070-3946-9797
<https://www.setagayashakyo.or.jp>

食で応援プロジェクト

2020年7月15日九品仏地区で「食で応援プロジェクト」を始めて足掛け3年になります。
始まったきっかけや食品の配付先、活動の変化や今後についてのお話を玉川地域社協で伺いました。



きっかけ

2020年にコロナ特例貸付が始まると申請者が殺到。ぶらっとホーム世田谷※1 だけでは対応できず地域社協窓口でも受付が始まった。そこで資金だけでなく食にも困難な方が多くいることを知る。

賛同されるか不安ではあったが、二子玉川地区で同年5月から毎週木曜日に食で応援(フードバンク)の取り組みを始め、窓口で渡し始めた。

これを知った玉川地域7地区社協の会長が各地区に持ち帰り「食で応援プロジェクト」として地区での取り組みが始まる。

食品の配付先

現在は、玉川支所の生活支援課・保健福祉課・健康づくり課・子ども家庭支援センター、ぽーとたまがわ※2、各あしんすこやかセンターなどに食品配付申込書を備え、必要とする方々に配付している。また子ども食堂などにも食品を提供している。

※1 世田谷区生活困窮者自立相談支援センター

※2 玉川地域障害者相談支援センター

立ち上げ時からの変化

当初は、コロナがすぐに収束し特例貸付窓口が閉じ、食で応援も終わるのかなと思っていたが、様々な状況から求められ、困っている方々がまだまだいるという現実、食で応援は続けていく方向にある。

2022年3月、社協連携推進課が立ち上がり、食の支援情報を集めたフードシェアウェブサイト「せ★たべる」を運営し、生活に困窮する世帯で「食」に困っている方や、課題を抱えている方と、「食」を支援する住民や活動団体、法人、企業が繋がる支援を始めている。

食がきっかけで区の福祉関係部署と連携ができ、年末の緊急支援につながった。

地区社協担当職員とまちとの連携により玉川高島屋でフードドライブが企画され(2023.1/21.22)、またライブでもとの話が出ている。

この活動は社協だけでなく、各所で広がっている。

これから

窓口に来られた方との関係はそが入口で、伴走しているようにつながっていければ・・・

すれすれのところで生活をしている方も多くいるし、お金を借りても返せない方には相談する窓口があることをお知らせして寄り添ってゆく、社協がセイフティーネットになればと思う。

「食で応援プロジェクト」は、参加しやすいボランティアなので、地域づくりの柱のひとつになればと、続けたい。

「つくって役立つ防災工作」1月21日実施

青少年九品仏地区委員会が主催し、八幡・九品仏小学校の児童(希望者)15名が参加しました。9名の八幡中学校生徒もボランティアとして参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で皆さん楽しそうに作業をしていました。

- ① 新聞紙でスリッパ
- ② キッチンペーパーと輪ゴムでマスク
- ③ 牛乳パックでお皿とスプーン



身近なものを利用した工作や、

- 懐中電灯の光を拡散させる方法
- 単3電池を単1電池として利用する方法
- 防災クイズなどを学びました。

ここで読者のみなさまにクイズ「消火器は全て赤色である」

YES or NO さて、あなたのお答えは？